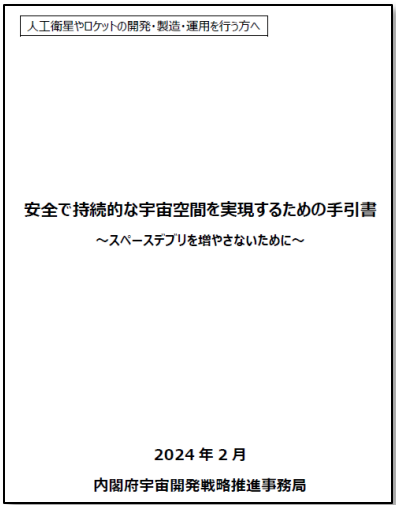


# 「安全で持続的な宇宙空間を実現するための手引書 ～スペースデブリを増やさないために～」の周知実績

- 閣議後会見における大臣からの紹介後、内閣府宇宙開発戦略推進事務局のホームページにて公表(2月27日)。
- 手引書を効果的に周知・啓発するため、人工衛星やロケットの開発に関する計100の企業・大学・団体に対して、内閣府宇宙開発戦略推進事務局から直接メールにて周知を行った(※1, 2)。
- また、UNISEC(大学宇宙工学コンソーシアム)を通じて、宇宙工学等を専攻する約400名の大学生・高校生に対しても周知を行った(※3)。
- 内閣府ウェブサイトの、手引書の解説ページは1,463件、手引書そのものは1,071件閲覧。
- 「X」への投稿は、内閣府の投稿が9.1万件、宇推くりあ(宇宙開発利用大賞PRキャラ)の投稿が6.4万件の閲覧数を獲得。

※1: 内訳は、企業52件、大学21件、団体(NPO、地方自治体等) 27件。  
 ※2: 周知先の代表例は、三菱重工業(株)、三菱電機(株)、(株)IHIエアロスペース、川崎重工業(株)、(株)アストロスケール、スカパーJSAT(株)、和歌山大学、千葉工業大学、等。  
 ※3: UNISECは、モデルロケットや超小型衛星の製作機会を国内の大学生や高専学生に提供することにより、宇宙分野における人材育成を目的としたNPO法人。



9.1万 件の表示

6.4万 件の表示